事例No.	1114
公表年度	R2
団体の属性	中核市
団体名	高知県高知市

事例区分	一般行政

タグ	・税財政 ・新たな政策手法の確立・活用

事例種類	間伐や路網整備等の取組

事例内容・タイトル

被害森林整備

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

高知県　高知市（被害森林整備）

- 高知市では、平成29年の台風により40ha以上の風倒木被害が発生し、二次被害の発生が懸念される森林もあるが、既存の支援策では森林所有者の経済的負担が大きく復旧が進まない状況であった。このため、森林環境譲与税を財源として、標準事業費の100％まで補助する制度を設けることで、被害森林の整備を促進する方針。
- 令和元年度においては、以下の取り組みにより、被害森林の整備が進んだ。
  - 被害森林整備についての補助制度を創設し，2.65ha（２箇所）の被害森林の整備を支援した。

□　事業内容

1　被害森林の整備への支援（高知市被害森林整備事業）

- 自然災害等により被害を受けた人工林の整備に対する支援を実施。

【事　業　費】599千円（全額譲与税）
【実　　績】更新伐　：1.94ha
　　保育間伐：0.71ha



（被害の状況）



（施業の様子）



（整備後の状況）

□　事業スキーム

1　被害森林の整備への支援（高知市被害森林整備事業）



□　工夫・留意した点

- 被害森林の整備においては、既存の補助事業を活用しても森林所有者の経済的負担が大きいため、県の造林事業費補助金と合算した補助金合計額が、標準事業費の100％となる補助制度を設け、被害森林の整備促進を図った。

◇　基礎データ

①令和元年度譲与額	32,070千円
②私有林人工林面積（※１）	6,893ha
③林野率（※２）	55.9%
④人口（※３）	337,190人
⑤林業就業者数（※４）	230人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」
※２：「2015農林業センサス」　　※３，４：「H27年国勢調査」